

# 株式会社恵那興業

## 2022 年度 環境経営レポート

(対象期間 2022 年4月1日～ 2023 年3月31日)



作成日： 2022年7月1日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
許可の内容	6
廃棄物処理フロー	7
主な環境負荷の実績	8
環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価	9～11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13



## □ごあいさつ

弊社は、創業40年以上の信頼と実績をもとに、地元で根差す廃棄物処理のエキスパートとして、お客様や地域の皆様からの信頼を得られるよう、全社員一丸となって日々の業務に励んでおります。

いまだ産業廃棄物の不法投棄や不適正な処理などが問題とされているなかで、企業のコンプライアンス（法令順守）が特に重要視されています。

株式会社恵那興業では、コンプライアンスはもとより、徹底した廃棄物管理システムを確立しております。お客様のさまざまなご要望にお応えし、廃棄物の適切な処理の方法や、リサイクルのための分別方法、さらに処理コスト削減について、収集運搬から最終処分に至るまでトータルにサポートしております。

これらを通じて、さらにお客様に安心と安全を提供できるように、常に新しい技術を取り入れながら社会的責任を担うべく、資源循環型社会の構築を目指してまいります。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

株式会社恵那興業は一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬・処分を行う企業として以下の方針のもと、活動します。

- ・リサイクルを行う企業として、提供する製品及びサービスが時代の要求する水準を満たすものを提供するとともに、より環境に優しい提案ができるように、目的を定め、定期的に見直しをします。
- ・持続可能な資源の有効利用、気象変動の緩和に貢献できる製品及びサービスの提供、及びこの自然豊かな伊那谷の生物多様性及び生態系の保護に努めます。
- ・コンプライアンスに努め、その情報を発信します。
- ・エコアクション21を運用することで、環境パフォーマンスの継続的改善に努めます。

### <環境保全への行動指針>

1. 受託した廃棄物を安全・適正に収集運搬するとともに、エコドライブを推進し、収集運搬車両の燃費を向上し環境配慮したサービスを提供いたします。
2. 排出事業者に安心して廃棄物を預けて頂けるように、コスト削減の提案や法改正の情報を伝えて排出事業者の信頼性を向上いたします。
3. 排出事業者からお預りした廃棄物の分別を徹底し、適正に処理致します。
4. 埋立処分場への処理量削減と再資源化の向上を促進致します。
5. 関連法規を遵守します。
6. 節水に努め、水の使用量を削減します。
7. 地域住民の皆様と良好な関係を構築し、コミュニケーションを推進してまいります。



制定日：2020年6月1日

代表取締役

平栗 秀信

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名  
株式会社恵那興業  
代表取締役 平栗 秀信

(2) 所在地  
本社・リサイクルセンター  
長野県下伊那郡阿智村伍和3954

最終処分場  
長野県下伊那郡阿智村伍和丸山5249-2他

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者及び担当者 代田 勇 TEL：0265-43-2526

(4) 事業内容  
一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業・処分業（中間処理・最終処分業）

(5) 事業の規模  
法人設立 昭和63年月日  
資本金 4000万円  
売上高 252,586万円（2022年度）

本社・リサイクルセンター		最終処分場	
従業員	19名	無人	
延べ床面積	5,196.77㎡	8,250㎡	
受託した産業廃棄物の処理量		受託した一般廃棄物量（収集運搬） 394 t	
収集運搬量	7,113 t		
中間処理量	5,651 t	うち再資源化量	0 t
最終処分量	3,594 t		
中間処理後の産廃の処分量	3,017 t	うち再資源化量	0 t
車種			
	台数	備考	
パッカー車（塵芥車）	1台		
コンテナ専用車	4台		
トラッククレーン	3台		
トラック	1台		
合計	台		

主要設備

名称	台数	備考	
破碎施設	5基		
圧縮梱包施設	2基		
減容施設	3基		
積み替え保管施設	※積替保管施設はありません。		
名称	保管面積	保管上限	備考
	㎡	m	
	㎡	m	
	㎡	m	

□認証・登録の対象組織・活動

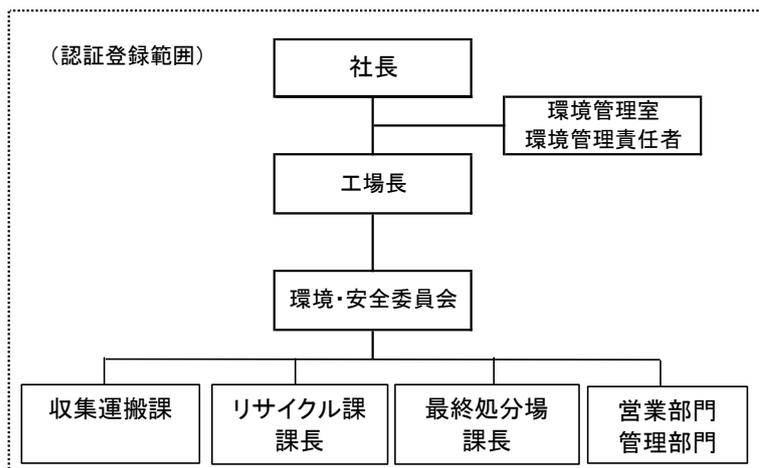
登録組織名：株式会社恵那興業  
対象事業所：本社・リサイクルセンター

対象外：  
活動：一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業・処分業（中間処理・最終処分業）

□事業の紹介

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年7月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> </ul>
環境管理室 環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標・環境経営計画書の策定、社長へ提出</li> <li>・環境活動レポートの作成</li> <li>・環境活動の取組結果を社長へ報告</li> </ul>
環境・安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施管理</li> <li>・環境目標、環境活動計画書の作成、進捗状況の確認</li> <li>・環境関連の外部窓口</li> <li>・安全衛生に関する協議、目標作成、確認</li> <li>・環境、安全に関する周知</li> </ul>
各課 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課における環境方針の周知</li> <li>・各課に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・問題点抽出と是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を認知</li> <li>・自主的・積極的に環境改善への取り組み</li> </ul>

□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
阿智村	3阿生第156号	令和4年2月20日	令和6年2月19日	
飯田市	2飯環第5011号	令和2年12月12日	令和4年12月11日	
南信州広域連合	3南飯環第154号-15	令和4年4月1日	令和5年3月31日	
大鹿村	2大住税第322号	令和3年2月25日	令和5年2月26日	
下伊那南部総合事務組合	南総組第111-8号	令和3年2月24日	令和5年2月23日	
喬木村	2生環第36号	令和3年3月2日	令和5年3月5日	
豊丘村	2豊環第106号	令和3年3月7日	令和5年3月6日	
箕輪町	2住環第159号	令和2年9月4日	令和4年9月6日	
愛知県北設楽郡東栄町		令和4年3月28日	令和6年3月31日	
根羽村	03根住環第240号	令和4年3月29日	令和5年3月31日	
平谷村	4平住第4号	令和4年4月6日	令和5年3月8日	
松川町	2松環第99号	令和3年3月4日	令和5年3月3日	
高森町	2高森環水第785号	令和3年3月12日	令和5年3月11日	
愛知県北設楽郡豊根村	2豊住第196号	令和2年7月13日	令和4年7月31日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類																
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい		
長野県	2003039520	令和3年3月19日	令和10年3月18日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知県	02300039520	平成28年3月14日	令和5年1月14日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜県	02100039520	平成27年12月15日	令和4年12月14日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

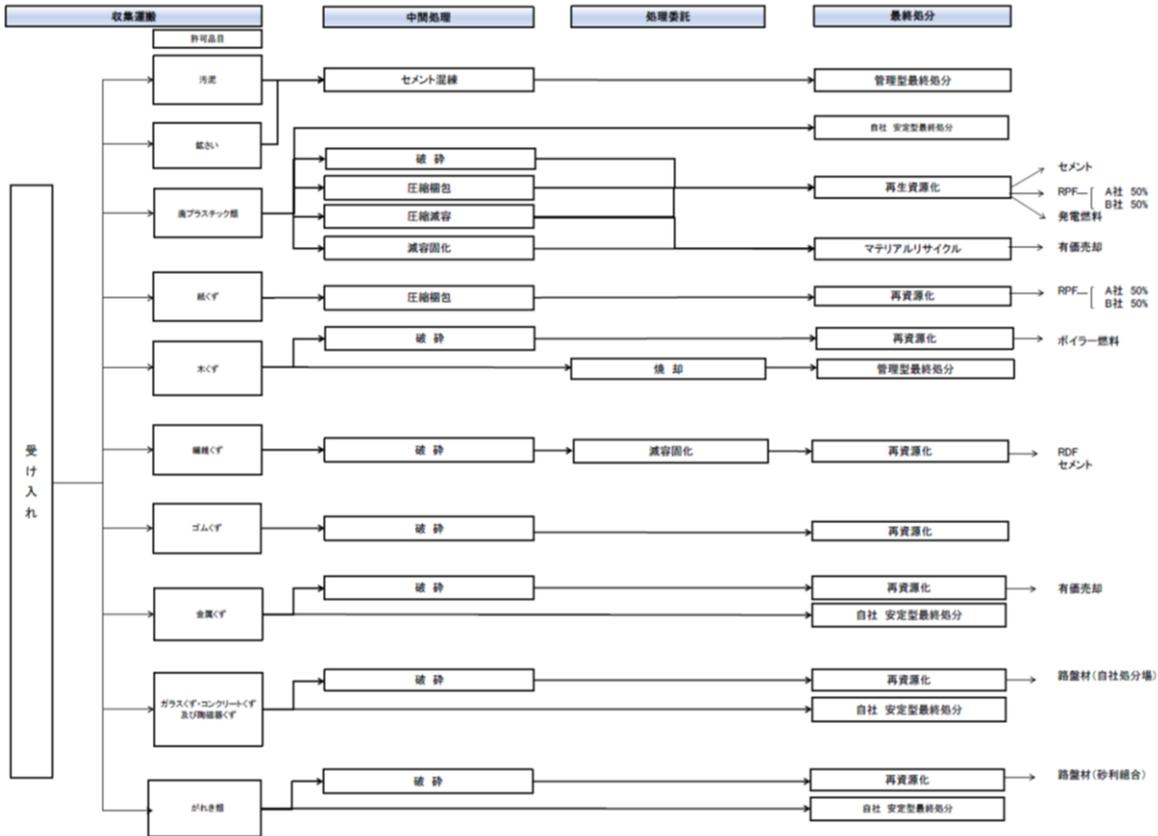
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類																
					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ													
長野県	2053039520	平成28年5月20日	令和5年5月19日	無		○	○	○													

産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類																			
					中間処理	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	金属くず	ゴムくず											
長野県	2043039520	令和3年3月19日	令和10年3月18日	圧縮	○	○	○	○																
				破碎	○	○	○	○	○	○	○	○												
				減容	○	○	○	○																
				固化	○																			

□ 廃棄物処理フロー



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	306,582	327,172	349,620
受託収集運搬量	トン	6,781	7,113	7,113
受託中間処理量	トン	8,473	7,276	5,651
受託最終処分量	トン	4,420	4,420	3,594
廃棄物排出量	トン	6	8	5
一般廃棄物排出量	トン	1	2	0
産業廃棄物排出量	トン	6,257	7,662	4,710
水使用量	m <sup>3</sup>	532	420	344

※二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社の調整後の係数

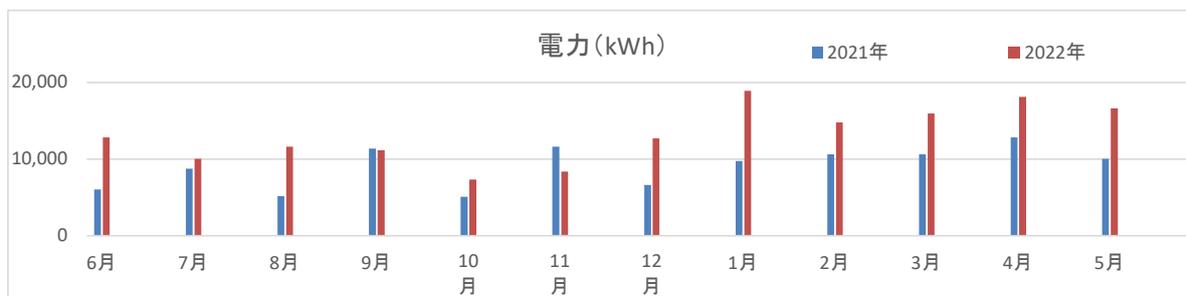
□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2022年		評価	2023年 (目標)	2024年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	47,478	46,529	66,190	×	45,579	45,104
	基準年度比	2021年	98%	139%		96%	95%
LPガスによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	270	268	227	○	265	262
	基準年度比	2021年	99%	84%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	34,495	34,150	30,078	○	0	0
	基準年度比	2021年	99%	87%		0%	0%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	244,928	240,030	253,125	×	237,581	235,131
	基準年度比	2021年	98%	103%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	327,172	320,976	349,620		283,425	280,498
一般廃棄物の削減	kg	1,540	1,509	725	○	1,509	1,494
	基準年度比	2021年	98%	47%		98%	97%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%	—	50%	63%	○	52%	54%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	420	416	344	○	412	407
	基準年度比	2021年	99%	82%		98%	97%
環境に配慮した収集運搬	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

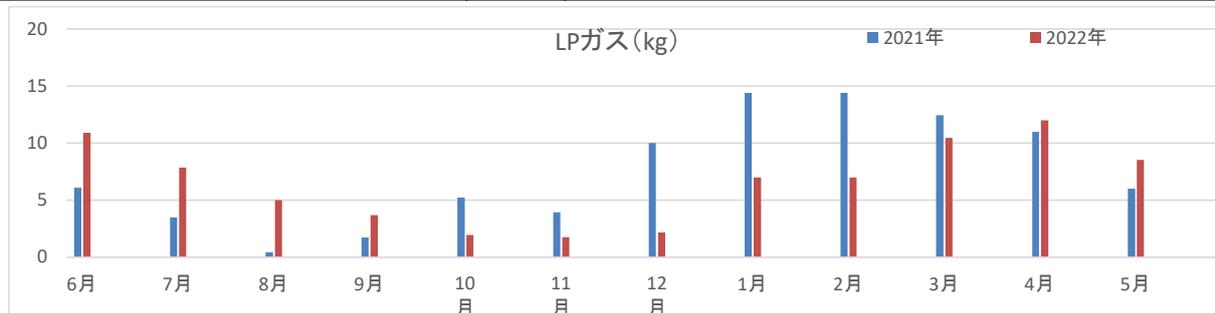
数値目標:○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】増設した破碎、選別(マテリアルリサイクルライン)が稼働をはじめ、電力使用量が激増したため、実測値は増加しています。しかし、排出事業者から単一材料のプラスチックからマテリアルリサイクルに再生するモデルケースとしては評価できると思います。 【次年度の取組】プラスチックのマテリアルリサイクル事業が軌道に乗り、三菱電機様、明和産業様からの材料リサイクルを請け負うことにより、来年度から始まる、プラスチックマテリアルリサイクルに関する優良事業者登録を目指して、新たな取り組み指標を作成し、
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	△	
・長時間離席時パソコンの電源を切る	○	
・圧縮梱包機、ベレタイザー製造機の運転効率の向上	○	
・処理量、生産量を毎日作業終了後管理する	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	6,031	8,760	5,152	11,341	5,094	11,631	6,646	9,736	10,612	10,612	12,819	10,064
2022年	12,819	10,064	11,619	11,164	7,318	8,365	12,711	18,900	14,775	15,939	18,085	16,590

LPガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】(LPガスについては、事務所の給湯器使用のみのため、環境負荷が少なく、監視測定のみとしております。 【次年度の取組】今年度の活動を継続する。
・冬季以外は給湯器の使用禁止	○	
・給湯器使用時の効率化、温度の適正化	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	6	3	0	2	5	4	10	14	14	12	11	6
2022年	11	8	5	4	2	2	2	7	7	10	12	9

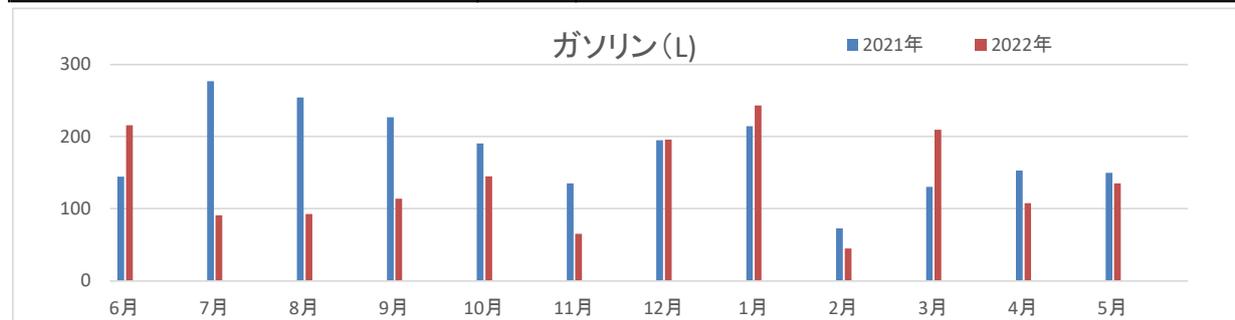
灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】(灯油については、暖房は冬季(外気温が氷点下時に使用する、給湯器もなるべくまとめて使用するなどで削減してきました。一部、重機について灯油を使用しておりますが、重機作業は計画的に連続運転をしてアイドリング時間を削減したり、同じ重機を兼用してよするなど、効率化を図ってきました。
・冬季以外は給湯器の使用禁止	○	
・給湯器使用時の効率化、温度の適正化	○	
・灯油使用重機について、アイドリングス	○	

取組紹介欄

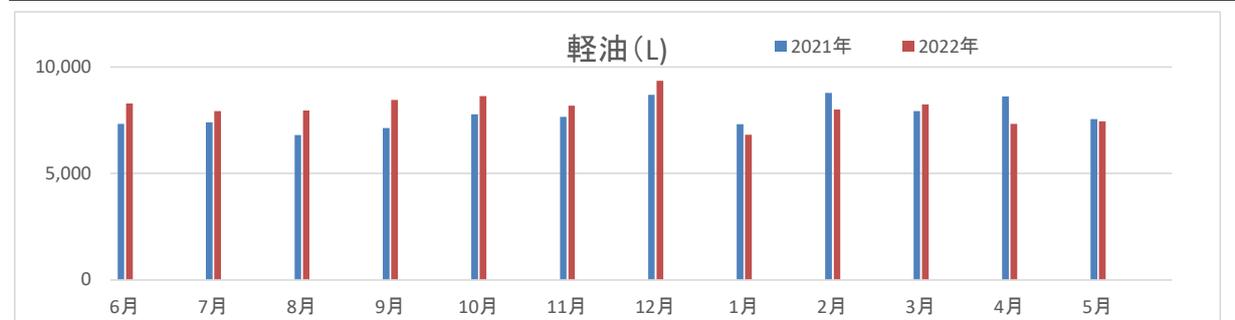


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	1,197	973	1,160	906	1,144	1,236	1,151	1,040	1,467	1,366	1,090	1,123
2022年	1,130	1,023	992	1,207	1,195	1,105	1,171	986	986	824	951	626

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】(収集運搬の容積(m <sup>3</sup> )単位は、前年度比+4.2%、運搬件数は+3.1%とそれぞれ増加しております。半面、リニア中央新幹線工事に伴う回収現場が大鹿村を中心として遠距離、また山間地ということで燃費が悪く燃料に関する数値は悪化しました。 【次年度の取組】リニア関連工事が終息するまでは同じ傾向が続くと思われませんが、引き続き監視測定し、エコドライブを推進します。
・ドライブレコーダーによる運行記録の確認	○	
・エコドライブの実施	○	
・危険運転によるメール通報の確認、報告	○	
・効率の良い配車と運転経路	○	

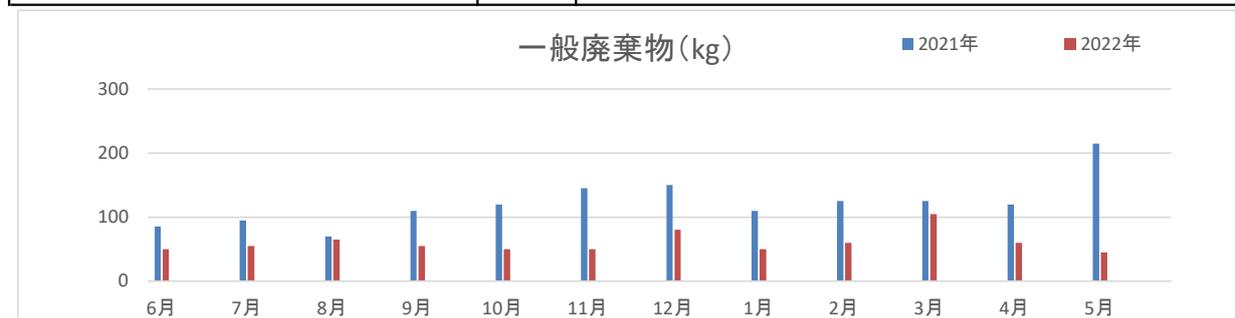


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	144	277	254	227	191	135	195	214	73	131	153	150
2022年	216	91	93	114	145	66	196	243	45	209	108	135



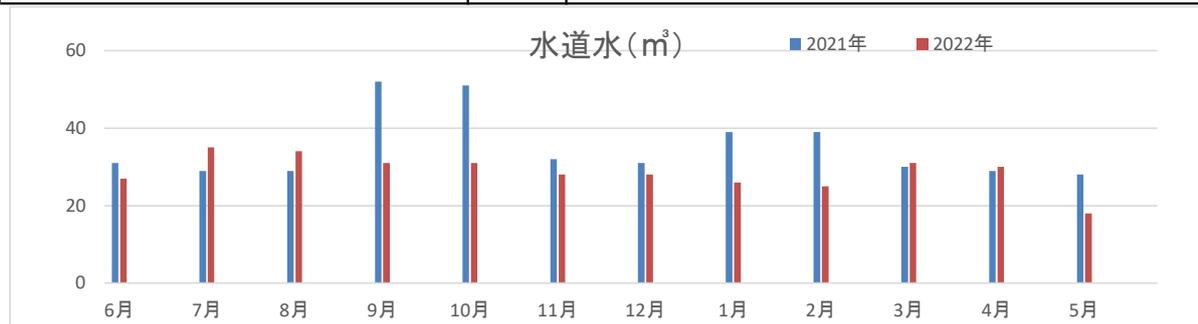
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	7,335	7,407	6,806	7,129	7,782	7,662	8,684	7,313	8,784	7,933	8,612	7,560
2022年	8,286	7,939	7,961	8,446	8,620	8,180	9,362	6,808	8,003	8,230	7,323	7,459

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】(紙については、再生紙向けは、上質紙、雑誌、カタログは有価品としてカウントしておりません。雑紙もリサイクルに回していますので、焼却ゴミは少ないため、事務所から持ち出す紙袋でカウントしています。 【次年度の取組】環境影響はほぼゼロですが、エコアクションの要求事項に従い、管理します。
・分別の徹底	○	
・コピー用紙の裏紙使用	○	
・再資源化の推進	○	
・梱包材の再利用	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	85	95	70	110	120	145	150	110	125	125	120	215
2022年	50	55	65	55	50	50	80	50	60	105	60	45

<b>受託廃棄物のリサイクル率の向上</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】(受託総量は昨年度より10%増加しています。構成比として、受託した中で、建設系廃棄物の割合が高く、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず及びがれき類が多く、重量換算で約半分を占めました。特に廃PETボトルの「B to B」工場向けの出荷が本格化し、全体のリサイクル率向上に貢献しています。 【次年度の取組】2022年度は新たに硬質プラスチックの再資源化ラインが稼働を始めるため、さらにリサイクル率が向上する計画です。
・排出先の分別徹底の依頼	○	
・選別の徹底	○	
・リサイクル先の開拓	○	
<b>水道水の削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】水道水の使用については、収集運搬車両の洗車、仕分け選別場・木くず破砕場所での散水に利用しています。収集運搬車両の洗車は、洗車時間を限定する等、昨年度と引き続き削減に努めています。増加の原因は、木くず破砕現場での粉塵対策としての散水にあります。 【次年度の取組】散水方法、時間等、工夫して削減するようにします。
・社内ルールに従って洗車する	○	
・漏れ、緩みの点検	○	
・トイレに擬音装置取り付け	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	31	29	29	52	51	32	31	39	39	30	29	28
2022年	27	35	34	31	31	28	28	26	25	31	30	18

<b>グリーン購入の推進</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・事務用品グリーン購入 (マーク付き購入)	○	【評価】事務所で使用する製品は、グリーンマークの物を優先して購入した。 【次年度の取組】次年度も活動を継続する。
<b>環境に配慮した収集運搬</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ドライブレコーダーによる運行記録の確認	○	【評価】ドライブレコーダーの採点記録の機能により急発進、急加速等が100点満点で毎月採点されますが、昨年度、83.1点、2021年度84.35点と向上しております。 【次年度の取組】引き続き、エコドライブ推進に向けて、日報、月報を活用して、点数の向上に努めます。
・エコドライブの実施	○	
・危険運転によるメール通報の確認、報告	○	
・効率の良い配車と運転経路	○	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**  
**法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。**

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
消防法（指定可燃物の保管）	指定可燃物保管
騒音規制法	地元環境保全協定 年2回の測定
振動規制法	地元環境保全協定 年2回の測定
水質汚濁法	水質の測定
フロン排出抑制法	廃棄物としての回収（家電リサイクル法）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□緊急事態対応訓練**

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 令和3年6月24日	■実施場所 リサイクルセンター
■参加者： 社員全員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価：	手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
別紙訓練記録：消火設備点検と消火訓練、伝達訓練の実施。外部関係者（お客様、運転手）の避難誘導の追加。他リサイクル施設等での火災事故を参考に、予防処置を含めて（保管方法、場所ばど）を考慮に入れたマニュアルの検討が必要と思われる。	
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 令和3年6月24日	■実施場所
■参加者： 社員全員	■実施内容： ・流出事故対応、通報訓練
■評価：	手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
漏洩、取り扱い等については、現場確認と責任者の聞き取りで確認。問題ありませんでした。手順書の改訂は必要無	
■実施状況の様子	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油タンク内の残存量の確認（1000 タンク半分）漏洩箇所なし。</li> <li>・夏季は使用しない。（灯油ストーブのみ使用）</li> <li>・給油方法については、担当者は給油中は目を離さない。 あふれた時に備えてウェス等を用意していることを責任者に確認。</li> </ul>	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2022年4月30日

【前回の指示への取組結果】	
・前回指示事項は実施した。	
<情 報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) SDG'sの取組拡大、資源循環のニーズの増大、廃棄物に関するコンプライアンスの重要性について優良事業者として問い合わせをいただくケースが増加している。	◇環境方針 なし
◇環境経営目標・計画の達成状況 ・売上は前年度対比30%増加した。 ・エネルギー使用量は事業増加に伴い目標は未達に終わりました。 ・受託廃棄物のリサイクル率は(再資源化)は目標達成しました。	◇環境経営目標・環境経営計画 なし
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 ・環境上の問題点等 については問題ありませんでした。	◇実施体制他 なし
<p>・灯油、LPガス、水の使用量については、当社の活動に大きな影響を及ぼす量ではないので、継続的に監視測定し、異常が検知できるようにします。</p> <p>・優良事業者として、今後同じ優良事業者認定制度の中でも差別化はかり、サービスの工場とコンプライアンスを含めて、より環境に貢献できる企業として、継続的改善を進めること。</p>	

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり